

国宝瑠璃光寺五重塔の全面改修を契機とした観光誘客プロジェクト

昇華

-shouka-

大内文化

第2弾 プロジェクションマッピング

四季をテーマに大内文化の世界観を表現
通路には人の動きで変化するインタラクティブ体験も

2024 9月8日(日) ▶ 2025 1月3日(金)



詳しくはHPへ

実施時間: 9月 19:30~22:00、10月 18:30~22:00、11月以降 18:00~22:00

土曜・日曜・祝日は山口県庁駐車場もご利用いただけます。

12月31日のみ18:00~24:30

会場 山口市香山公園 山口県山口市香山町 7-1

(主催) 山口市交流創造部観光交流課
(企画・運営) 株式会社 JTB 山口支店

移ろいゆく「四季」の中に落とし込まれた 大内文化の世界観

改修中の国宝瑠璃光寺五重塔を覆うデザインシートを舞台に、プロジェクションマッピング第2弾が開催されます。今回の作品は、世界的に活躍する舞台芸術監督 森弘一郎氏が監修し、大内氏の過ごした時間を「四季」に見立て、冬・春・夏・秋の映像と音楽で大内文化の世界観を表現します。また、香山公園塔影の池東側の通路では、人の動きに合わせて季節の演出が変化するインタラクティブなプロジェクションマッピングも楽しめます。

オープニング



大内菱が輝く新たな物語の始まり

五重塔が霧に包まれ、やがて霧が晴れると、タイトルと共に大内家の家紋「大内菱」が星のように輝きながら昇っていきます。このシーンでは、過去の思いが晴れ、今もなお星となって大内氏の人々が見守っている様子を表現しています。オープニングは、新たな物語の始まりを象徴しています。



冬

雪景色の五重塔に佇む弘世公

寒さを感じさせる粉雪が降り、一の坂川が浮かび上がる中、五重塔が次第に雪に覆われていきます。雪に包まれた五重塔の前に現れた弘世公の姿は、冬の厳しさと共に、大内氏が乗り越えてきた困難を象徴し、弘世公がこれまでの歩みと、大内文化の繁栄への思いを馳せる様子を表現しています。



春

山口の地に咲き誇る桜と大内文化

桜が芽生え、幹が成長し、やがて満開の桜が一面を彩ります。桜が根を張り咲き誇るまでに成長する様子は、大内文化が山口の地に根付き、さらに発展していく姿を象徴しています。また、桜の色合いが混ざり合う様子は、多様な人々や慣習を受け入れ、独自の文化を生み出していく大内文化の精神性を表現しています。



夏

初夏に咲く睡蓮と満月に映える五重塔

初夏の雨が水面に波紋を広げ、睡蓮が美しく咲きます。満月が五重塔の背後に現れ、秋への移ろいを感じさせます。泥の中で成長し清らかな花を咲かせる睡蓮の様子は、大内文化が現代まで清らかに成長してきた姿を象徴しています。また、初夏の雨が睡蓮を咲かせるように、大内文化が歴史の波紋を広げ、発展していく様子を表現しています。



秋

舞い散る紅葉と大内文化の歴史

朝日が五重塔を照らし、紅葉の葉が色づき、地面に散り積もる中、五重塔は何度も様々な色に塗り替えられ、最後には一筋の流れ星が五重塔を輝かせます。これらのシーンは、大内文化の長い歴史と移ろいゆく時代の流れを象徴し、落ち葉が肥しとなって大内文化が後世に受け継がれていく様子を描いています。長い歴史の中で、変わったものと変わらずに受け継がれてきたもの、現在の山口に息づく大内文化とは何かを問いかける表現となっています。

通路には人の動きで変化する インタラクティブな演出も



舞台芸術監督 森弘一郎氏



日本のダンスシーンを経て渡米。その後、舞台芸術の世界を知り、北欧デンマークを中心にヨーロッパの国々へと活動の場を広げる。ダンスの枠を越え芸術的表現者として舞台芸術の道へ。劇場公演「くるみ割り人形HIPHOPバージョン」をはじめ数々の舞台でデンマーク国内最高評価六つ星を取得。同作品では、デンマーク最高峰の劇場アワード Reumert Award において3部門を受賞。また「Danish Culture Canon」児童文化部門に選ばれ、デンマークの歴史に刻まれる名誉のある作品となる。そして、その芸術性の高さを認められ、デンマーク女王も賛辞をおくられた。情熱大陸に出演後、海外だけでなく日本の伝統文化や歴史に触れながら幅広く活動をしている。